

住之江ホト「GI第49回高松宮記念特別競走」来月2日開幕

地元GI初制覇へ挑む

下

「調子は悪くはないんですが、もう少し結果がほしいかな。SGにも出られていくけどもう少しパツとして、賞金も上積みしたい。」

飛躍の年、充実の秋へ!! 「気合入る」

「大きい舞台」で一発やりたい気持ちがありますね。タイトル初奪取を渴望するからこそ、キャリアハイといえるシーズンを過ごしながらも決して満足はしていません。それでも6月に児島グランドチャンピオン、7月に芦屋オーシャンカップとSG2大会に初出場。オーシャンカップでは予選突破と力走した。また「ダービーは意識してきましたし、最後までタレずに1年間（選考勝率期間の昨年8月〜今年7月）頑張れたのはうれしい結果ですね」と10月の平和島SGダービー初出場を決めたこと。年間通じて高勝率を維持したこと

ンジンを引いたときには結果を出したいですね」とワンランク上の舞台を経て、高い意欲で下半期一発目のGI戦を地元で迎える。8月のオール大阪摂河泉競走では「（次の記念に向けて）何かしら持って帰りたい」と不断の整備調整で準優勝と善戦したばかり。「地元で優勝がないのは自分の中で寂しいですし、記念なので気合も入る。GIで（地元初優勝が）できたら最高ですけどね」

「（昨年の）グランプリシリーズがいきっかけになった。SGに出るだけで終わらないように、またあの辺りのレベルで活躍したい。このあとは記念が入っているの、そこでもいいエ

（小出大輔）

秦英悟 (35) 大阪

地元初、そしてGI初優勝へ機は熟している。秦はデビュー13年目で待望のSG初出場を果たした昨年末の平和島グランプリシリーズで、いきなり優出6着と躍進を遂げた。その活躍がフロックでなかったことを証明するように、前期（昨年11月〜今年4月）勝率では自己最高の7・34をマーク。前走の福岡で自己ベストを更新する年間4V（11優出）を達成するなど充実一途の走りを続けている。



昨年末のSG初優出を機に飛躍を続ける秦。地元&GI初Vへ機運が高まる

9/23 木金土 4 5 6 7 日月火